

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和04年03月10日

計画の名称	J R 芦屋駅周辺地区都市再生整備計画												
計画の期間	平成31年度 ~ 令和03年度 (3年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	芦屋市												
計画の目標	<p>【大目標】「芦屋」を発信する多世代交流のまちづくり</p> <p>【目標1】安心・安全な歩行者空間の整備により、本地区周辺への回遊性向上を図る。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	83	A	83	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初		R3末
1	市街地再開発事業区域内に流入する歩行者交通量を18,287人/日から21,944人/日に増加 市街地再開発事業区域内に流入する歩行者交通量(区域周辺5カ所)	18287人/日	人/日	21944人/日
2	J R 芦屋駅から国道2号までのバリアフリー化率を17%から100%に増加 J R 芦屋駅から国道2号までのバリアフリー化の割合	17%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中核都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

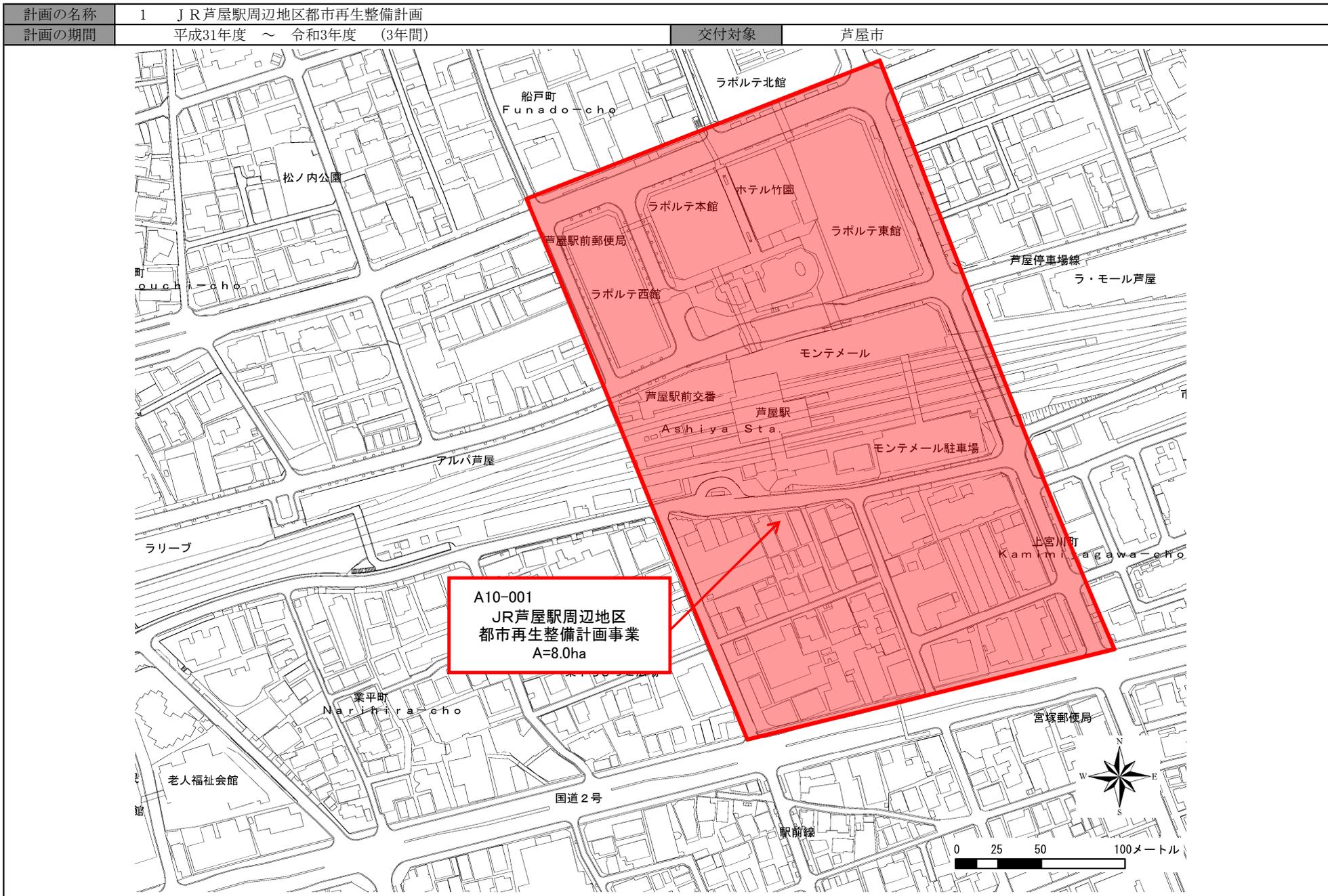
A 基幹事業																						
基幹事業(大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
		種別	種別	対象	間接							H31	R02	R03	R04	R05						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	芦屋市	直接	芦屋市	—	—	J R芦屋駅周辺地区都市 再生整備計画事業	地域生活基盤施設 A=8.0ha	芦屋市	■	■	■			83		—			
												小計						83				
											合計						83					

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02			
配分額 (a)	33	0			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	33	0			
前年度からの繰越額 (d)	0	33			
支払済額 (e)	0	33			
翌年度繰越額 (f)	33	0			
うち未契約繰越額(g)	33	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	100	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	住民との協議に不測の日数を要しているため。				

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)



都市再生整備計画(第1回変更)

あしや えきしゅうへん
JR芦屋駅周辺地区

ひょうごけん あしやし
兵庫県 芦屋市

令和4年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	兵庫県	市町村名	芦屋市	地区名	JR芦屋駅周辺地区	面積	8.0 ha
計画期間	平成 31 年度 ~ 令和 3 年度	交付期間	平成 31 年度 ~ 令和 3 年度				

目標

- 【大目標】「芦屋」を発信する多世代交流のまちづくり
- 【目標1】芦屋の玄関口としてふさわしい魅力情報の発信や交流拠点の整備により、世代を超えた様々なつながりを創出する。
- 【目標2】安心・安全な歩行者空間の整備により、本地区周辺への回遊性向上を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 本市は、大阪・神戸への交通の利便性にも恵まれた立地状況から古くから発展し、特徴としては、産業の発展した地域としてではなく、良好な住宅地としてのまちが形成され、「国際文化住宅都市」としてその名を知られている。
- 「芦屋市都市計画マスタープラン」(H29.3改訂)において、JR芦屋駅周辺地区は市の中心にあり、商業・業務機能が集まる地区であるとともに、阪神間及び本市の主要な広域交流の結節点でもあることから、本市の顔であり、高度な都市機能が集積する「中心核」として位置付けられている。
- 本地区のまちづくりは、駅北側では昭和54年度から平成10年度にかけての市街地再開発事業により、一定の整備は行われているが、駅南側では昭和21年度に駅前広場及び駅前線について都市計画決定を行っているものの、駅前広場の暫定整備にとどまり、その他の公共施設は未整備となっている。
- 平成5年から駅南側のまちづくりの検討を開始したが、本市の財政状況の悪化により平成13年に事業実施を延期している。
- その後、第4次芦屋市総合計画がスタートする平成23年度からまちづくりの検討を再開している。
- 地元の方々ともまちづくりについての勉強会を重ね、平成26年度に地元住民組織「JR芦屋駅南地区まちづくり協議会」が設立されている。
- 平成28年12月に「JR芦屋駅南地区まちづくり基本計画」を策定し、今後の事業化に向けた計画として位置付け、「芦屋」を発信する多世代交流のまちづくりに向けて取り組んでいる。
- 交通広場及び道路等の公共施設と合わせて、良好な住宅・商業・公益機能を備えた施設を一体的に整備することにより、本市の南玄関口にふさわしい市街地を形成することを目的に、都市機能の更新と土地利用の合理的かつ健全な高度利用を図るため、平成29年3月に第二種市街地再開発事業の都市計画決定を行い、平成30年5月に事業計画を決定している。
- 駅の持つ広域交流機能と駅周辺の商業施設が持つ商業活動とが相乗効果を奏で、市民生活に活気があふれるような「身近なにぎわいゾーン」としての機能を兼ね備えるとともに、都市計画マスタープランに位置付けられている「都市回遊ゾーン」として、特に本地区においては、市内外の各地域から人が集まり、安全で快適な道路空間の中を新しい芦屋の魅力を感じながら自由に散策し、そこから新しい市民文化が生まれる発想が培われるような活気あふれるまちづくりを進めていく必要がある。

課題

- 歩行者等の安全性確保(バリアフリー)
 - 駅前広場や駅前線などにおいて、人と車の動線を整理するなどの歩行者の安全性の確保やバリアフリーへの配慮が必要となっている。
- 駅南北の連携と交通結節機能の強化
 - 駅の南北を一体的にとらえ、全体として、芦屋駅にふさわしい交通結節点としての強化が必要である。
- 本市の中心核としてふさわしい南の玄関口としての顔づくり
 - 住宅などを主体とし、市の中心核としてふさわしい都市機能の導入により、本市の南玄関口としての顔づくりが必要である。
- 落ち着きやゆとりある生活環境づくり
 - 落ち着きやゆとりが感じられ、ハイセンスな生活環境が享受できるような、駅前の拠点づくりが必要である。
- 快適で品格ある都市環境・景観形成(アメニティの創出)
 - 花や緑、統一感のあるお洒落な店舗などのイメージと住宅地としての機能を融合し、快適かつ品格のある都市環境や景観を創出することが必要となる。
 - 「都市回遊ゾーン」の一面として、地区周辺の回遊性を向上させつつ、住宅・商業・公益・交通機能が一体となったまちづくりを行い、地域のアイデンティティをつくり出していくことが必要である。

将来ビジョン(中長期)

- 第4次芦屋市総合計画(H23～H32年度)における将来像「自然とみどりの中で絆を育み、“新しい暮らし文化”を創造・発信するまち」を目指し、後期基本計画(H28～H32年度)の重点施策に「JR芦屋駅周辺の交通結節機能を高める取組を進めます。」「住宅都市に必要な都市施設を計画的に整備していくための検討を行います。」「JR芦屋駅南地区まちづくりにおいて、生活利便性を向上させる取組を進めます。」として位置付けている。
- 芦屋市総合戦略(H27～H31年度)の基本目標に「安全・安心で良好な住宅地としての魅力を高め、継承する。」「若い世代の子育ての希望をかなえる」として位置付けている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	目標年度
				基準年度	目標年度	
歩行者交通量	人/日	市街地再開発事業区域内に流入する歩行者交通量の合計(区域周辺5カ所)	安全・安心な歩行者空間の確保による回遊性の向上及び落ち着きやゆとりのある駅前拠点の形成により、歩行者数が増加する。	18,287	21,944	令和3年度
バリアフリー化率	%	JR芦屋駅から国道2号までのバリアフリー化の割合	駅から周辺への歩行者動線のバリアフリー化を向上させ、安全・安心な歩行者空間を確保する。	17	100	令和3年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1 回遊性向上へとつながる環境整備 ・駅と建築物とを有機的に連結することにより、回遊性の高い人の流れを創出する。 ・安全・安心な歩行者空間を確保するとともに、緑豊かで人が集うオープンスペース等を活かした「やすらぎ(くつろぎ)環境」を整える。	・地域生活基盤施設:人工地盤等(基幹事業) ・JR芦屋駅南地区第二種市街地再開発事業(関連事業)
その他 ○JR芦屋駅南地区第二種市街地再開発事業(関連事業) 交通広場及び道路等の公共施設と合わせて、良好な住宅・商業・公益機能を備えた施設を一体的に整備することにより、本市の南玄関口にふさわしい市街地を形成することを目的に、都市機能の更新と土地利用の合理的かつ健全な高度利用を図るため、平成29年3月に第二種市街地再開発事業の都市計画決定を行い、平成30年5月に事業計画を決定している。	

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	82.5	交付限度額	33.0	国費率	0.4
---------	------	-------	------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比 B/C
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
	道路															
	道路															
	公園															
	古都保存・緑地保全等事業															
	河川															
	下水道															
	駐車場有効利用システム															
	地域生活基盤施設	人工地盤等		芦屋市	直	約570㎡	H31	R3	H31	R3	82.5	82.5	82.5		82.5	-
	地域生活基盤施設															
	高質空間形成施設															
	高次都市施設															
	高次都市施設															
	中心拠点誘導施設															
	連携生活拠点誘導施設															
	生活拠点誘導施設															
	高齢者交流拠点誘導施設															
	既存建造物活用事業(高次都市施設)															
	土地区画整理事業															
	市街地再開発事業															
	住宅街区整備事業															
	バリアフリー環境整備事業															
	優良建築物等整備事業															
	住宅市街地	拠点開発型														
	総合整備	沿道等整備型														
	事業	密集住宅市街地整備型														
		耐震改修促進型														
	街なみ環境整備事業															
	住宅地区改良事業等															
	都心共同住宅供給事業															
	公営住宅等整備															
	都市再生住宅等整備															
	防災街区整備事業															
	合計										82.5	82.5	82.5	0.0	82.5	-

…A

提案事業(継続地区の場合のみ記載)																
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費		
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度							
	地域創造															
	支援事業															
	事業活用調査															
	まちづくり活動推進事業															
	合計										0	0	0	0	0	0

…B

(参考)関連事業																
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費					
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度						
再開発	JR芦屋駅南地区第二種市街地再開発事業	芦屋市	国土交通省	A=1.1ha		○			H29	R9	3,320					
街路	JR芦屋駅南地区((都)駅前広場西線(ほか))	芦屋市	国土交通省	A=6,100㎡等		○			H28	R9	9,160					
都市交通	JR芦屋駅駅舎改良事業	JR西日本	国土交通省				○		H30	R5	1,615					
都市交通	JR芦屋駅周辺整備事業	芦屋市	国土交通省			○			H30	R5	1,473					
合計											15,568					

合計(A+B) 82.5

都市再生整備計画の区域

あしや えきしゅうへんら く ひょうごけんあしやし
 JR芦屋駅周辺地区(兵庫県芦屋市)

面積

8.0 ha

区域

芦屋市大原町, 船戸町, 上宮川町及び業平町の各一部

